

第1節 医 務

医療法等関係法令に基づき、管内医療機関等の開設、変更・廃止等の事務手続きを行い、必要に応じて管内医療機関等への立入検査を実施し、構造設備等法令基準の適合について指導を行った。また、医療従事者については医師法等関係法令に基づき免許証の申請・書換え等の事務を行った。

1. 市町別医療関係施設数

(H16.3.31 現在)

種別 市町別	合 計	病 院		一般診療所		歯 科 診療所	助産所		施術所	歯 科 技工所
		一般	精神	有床	無床		有床	無床		
管内 計	398	14	4	14	118	82	1	1	126	38
桑名市	233	9	-	14	66	49	1	1	72	21
いなべ市	84	3	1	-	25	16	-	-	29	10
桑名郡 計	42	2	1	-	15	9	-	-	12	3
多度町	15	1	1	-	5	3	-	-	3	2
長島町	21	1	-	-	8	4	-	-	7	1
木曾岬町	6	-	-	-	2	2	-	-	2	-
員弁郡東員町	39	-	2	-	12	8	-	-	13	4

2. 市町別病院病床数

(H16.3.31 現在)

区分 市町別	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平 成 1 5 年 度				
	施設 数	病床数	施設 数	病床数	施設 数	病床数	施設 数	病 床 種 別			
								計	一 般	療 養	精 神
管内 計	18	2,836	18	2,806	18	2,806	18	2,776	1,175	633	968
桑名市	9	1,118	9	1,090	9	1,090	9	1,094	795	299	-
いなべ市	4	669	4	643	4	643	4	641	326	103	212
多度町	2	351	2	375	2	375	2	343	54	41	248
長島町	1	190	1	190	1	190	1	190	-	190	-
木曾岬町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東員町	2	508	2	508	2	508	2	508	-	-	508

3. 管内医療従事者数

	医 師	歯 科 医 師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護 師	歯 科 衛生士	歯 科 技工士	計
平成8年	265	102	260	35	13	661	636	63	55	2,090
平成10年	272	102	267	44	17	785	713	73	55	2,328
平成12年	278	108	282	43	10	861	714	90	55	2,441
平成14年	205	89	224	59	13	904	755	94	50	2,393

(注) 平成14年12月31日 医療関係従事者届による(2年に一度の調査)

第2節 結核予防

近年、結核の状況は罹患者の減少が鈍化、院内感染、集団発生事例の散発や在日外国人の発生、高齢者の再発や多剤耐性患者の増加など、数多くの問題がある。当管内ではこれらを考慮して住民検診(定期)、患者家族検診(定期外)、管理検診に重点をおき、患者の早期発見や再発予防などに努めた。

1. 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を克明に調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

(1) 新登録患者数(活動性分類、性別、年齢階級別)

平成15年1月1日～平成15年12月31日

病型別 年齢区分	計			活動性結核												不明			別掲 初感染 結核		
				肺結核活動性									肺外結核								
				喀痰塗抹陽性			その他結核菌陽性			菌陰性・その他											
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女				
計	51	37	14	21	14	7	9	7	2	9	7	2	12	9	3	-	-	-	12	3	9
0才～4才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5才～9才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10才～14才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15才～19才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	3
20才～29才	5	3	2	1	1	-	1	-	1	3	2	1	-	-	-	-	-	-	7	1	6
30才～39才	4	4	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
40才～49才	3	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-
50才～59才	3	3	-	-	-	-	2	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60才～69才	11	7	4	6	3	3	2	2	-	1	1	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-
70才以上	25	19	6	10	7	3	4	3	1	4	3	1	7	6	1	-	-	-	-	-	-

(2) 年末現在登録者数(活動性分類、受療状況別)

平成15年12月31日現在

病型別 区分	計			活動性結核						不活動性	不明
				肺結核活動性				肺外結核			
				計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性、その他				
計	124	42	21	10	11	8	65	9			
入院中	10	8	7	-	1	2	-	-			
外来治療中	37	33	14	10	9	3	-	1			
治療なし	76	33	-	-	1	2	65	8			
不明	1	-	-	-	-	1	-	-			

(3) 市町別結核登録患者の状況

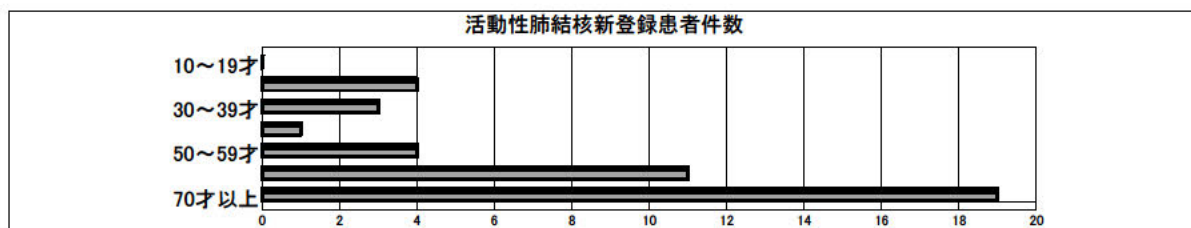
平成15年12月31日現在

病型別 市町別	計	活動性結核				不活 動性	不明	人口10万対		
		肺結核活動性			肺外結核			活動性肺結核の有病率		
		喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他				14年	15年	
管内計	124	21	10	11	8	65	9	21.0	16.6	
桑名市	63	10	3	4	7	36	3	22.9	15.5	
いなべ市	24	5	2	2	1	14	-		19.7	
(再掲)	北勢町	9	2	-	-	-	7	-	27.6	13.9
	員弁町	4	-	-	2	1	1	-	22.7	22.7
	大安町	6	2	-	-	-	4	-	13.2	13.2
	藤原町	5	1	2	-	-	2	-	27.5	41.4
多度町	7	1		1	-	3	2	28.1	18.9	
長島町	11	4	1	1	-	3	2	12.8	38.3	
木曾岬町	2	1	-	-	-	1	-	0.0	14.1	
東員町	17	-	4	3	-	8	2	19.1	26.7	

(4) 市町別結核新登録患者の状況 平成15年1月1日～平成15年12月31日

病型別 市町別	計	活動性結核					不明	り患率	別掲初 感染結 核	
		肺結核 活動性 計	肺結核活動性			肺外 結核				
			喀痰塗抹 陽性	その他結 核菌陽性	菌陰性・ その他					
管内計	51	39	21	9	9	12	9	23.8	12	
桑名市	20	14	8	3	3	6	3	18.3	8	
いなべ市	13	9	6	1	2	4	2	28.5	-	
(再掲)	北勢町	4	3	2	-	1	1	-	27.7	-
	員弁町	3	2	1	-	1	1	-	34.0	-
	大安町	4	2	2	-	-	2	-	26.3	-
	藤原町	2	2	1	1	-	-	-	27.6	1
多度町	3	3	2	-	1	-	2	28.3	-	
長島町	7	6	4	1	1	1	2	44.7	3	
木曾岬町	1	1	1	-	-	-	-	14.1	-	
東員町	7	6	-	4	2	1	2	26.7	-	

活動性肺結核新登録患者件数



2. 結核検診実施状況

項目		予防接種				胸部エックス線撮影		精密検査	
		対象者数	ツ反 検査者数	陽性者数	B C G 接種者数	対象者数	受診者数	受診者数	患者 発見 者数
定期	計	2,340	2,076	17	2,037	148,588	37,738	105	10
	事業者					87,340	17,852		5
	学校長					2,166	2,149	6	
	施設の長					776	746	6	1
	市町長	2,340	2,076	17	2,037	58,306	16,991	93	4
定期外	計		56	47	1		318 (11)		
	接触者		32	27			134 (11)		
	患者家族		24	20	1		168		
	患者管理						16		

受診者数()数については、委託分の再掲

3. 市町別一般住民結核健康診断実施状況

項目	住民健診対象者数(A)	(B) 3歳以下の対象者数	員 ツベルクリン反応検査人	B C G 接種人員(C)	(C) / (B) %	間接撮影		精密検査		
						受診人員(D)	(A) / D %	受診人員(F)	患者発見数(G)	(G) / (D) %
市町別										
計	58,306	2,340	2,076	2,037	87.1	16,991	29.1	93	4	0.02
桑名市	25,647	1,279	1,172	1,153	90.1	1,156	4.5	13	1	0.09
いなべ市	15,566	499	383	377	75.6	7,105	45.6	46	1	0.01
多度町	5,318	85	80	78	91.8	1,674	31.5	1	-	-
長島町	4,690	174	161	161	92.5	2,678	57.1	24	-	-
木曽岬町	1,902	71	53	52	73.2	1,867	98.2	7	-	-
東員町	5,183	232	227	216	93.1	2,511	48.4	2	2	0.08

4. 結核診査協議会における結核医療診査状況

(1) 被保険者別申請状況(34条のみ)

保険別 区分	計	被用者保険		国保	生保	老保	その他
		本人	家族				
申請件数	110	25	20	27	1	37	0
合格件数	108	24	20	27	1	36	0
承認件数	108	24	20	27	1	36	0

(2) 結核予防法第35条申請診査件数

申請別 区分	計	新規申請	継続申請	解除申請
申請件数	66	31	3	32
合格件数	66	31	3	32
承認件数	66	31	3	32

5. 結核診査協議会委員名簿(順不同)

氏名	役職名
高井 輝夫	国立療養所鈴鹿病院副院長
笠井 寛司	笠井内科医院院長
佐藤 孝之	桑名市民病院内科部長
妹尾 恭司	いなべ総合病院副院長
坂井 温子	桑名保健福祉部保健衛生室長(桑名保健所長)

6. 結核対策特別推進事業

(1) 事業の目的

◇ 近年、結核患者の増加の一因として集団感染が続出している中、結核に対する正しい知識の啓発を図ることは重要になっており、企業のアンケート結果においても、健康教育を実施している事業所は、ごく少ない状況にある。

そこで、昨年に引き続き管内企業を対象に、結核における健康教育を実施し、結核予防を図る。

また、近年高齢者施設における結核患者の発生も多く見られることから施設の職員に対して、結核の知識、発生時の対応等について研修会を開催する。

◇ 結核患者管理を図る上で、胸部X-Pによる時系列な管理・審査が重要であることから、胸部X-PのIT管理を行い、結核診査協議会を円滑かつ効率よく充実させる。

(2) 事業実施対象地域の概要

- ◇ 桑名保健所管内における結核罹患率は、平成 11 年と平成 12 年を比較して 22.5 から 33.5 と増加したが、平成 13 年は 26.1、平成 14 年は 27.0 と小さく波打っている状況である。その中でも、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率が、平成 14 年では県 9.9 に対して、当保健所管内では 11.2 となっている。
- ◇ 治療期間においては、平成 11 年 15.60 と全国平均 13.45、県 13.24 を大きく上まっていたが、結核診査協議会において期間短縮を積極的に勧奨することによって、平成 13 年 10.93 (県 12.23)、14 年 10.97 (県 12.73) と短縮されている。

(3) 実施内容

桑名商工会議所との連携により、桑名保健福祉部管内全中小企業 (2 , 9 0 0 ヶ所) を中心に住民への結核知識の普及啓発

- ・桑名商工会議所報 (Chamber) への啓発記事の掲載。
- ・桑名管内全地域配達新聞 (6 社) への折り込みニュースへの記事掲載依頼。

健康教育の実施

《 表 1 : 桑名保健所健康教育開催状況 》

年月日	テーマ	対象者	参加人数	備考
H15年 6月4日	身近な健康管理 ～ 結核・生活習慣病～	桑名菓子組合 関係者	46人	桑名食品衛生協会 (菓子組合) からの依頼 講師：保健師
6月30日	結核研修会	事業所管理職	2人	事業所に置ける職員の健康管理。接触者検診も説明として実施 担当：保健所長・保健師
H16年 1月29日	児童・生徒の結核 健康診断について	桑名医師会員 いなべ医師会員 管内小中学校 関係者	45人	医師会から依頼 講師：保健所長
2月19日	健診説明会	事業所職員	5人	接触者検診説明会として実施 担当：放射線技師・保健師
2月29日	健診説明会	塾関係者 (生徒保護者)	30人	接触者検診説明会として実施 担当：保健所長・放射線技師・保健師

胸部XPのIT管理。

【具体的方法】

各病院から結核診査協議会に提出のあった胸部XPについて、デジタルカメラにてパソコンに取りこみ、データ・ベース化。継続申請時には直近のXPフィルムのみ添付されていることが多いため、診査時にシャーカステン横にパソコンを設置し比較、診査していった。

・平成14年度結核診査会診査協議会公費負担申請件数 176件（延べ数）

・データ保存件数：実数 204 件
延べ数 509 件



（４）事業効果

「小規模事業所に対する結核健康教育事業」

事業所等への研修会開催は、結核に対する病気の知識及び現状を理解してもらうことにより、事業所等において職員・利用者への健康管理を遂行してもらうことができる。また、事業所従業員の結核早期発見・早期治療につなげることになり、集団感染を防止することにつなげることが可能となる。

接触者検診実施に係る研修会の開催は、結核の理解によって関係者の不必要な不安の軽減を図ることが可能になり、接触者検診を円滑にし、保健所との関係も良好な状態で継続していける効果があった。

また、今年度は学校保健法改正後の学校健康診断への関心が高く、法改正後の学校の結核対策についての理解を深めた。

「結核診査協議会に伴う胸部XPのIT管理」

胸部XPのIT管理を行うことで、経緯がよくわかり、前回のフィルムとの比較が容易となり結核診査協議会を円滑かつ効率よく充実させることが可能となった。胸部XPによる時系列な管理・審査の円滑化は、結核治療期間を長期化の防止し、適正医療の普及を図ることになる。

第3節 感染症予防

1. 感染症予防

各感染症の発生は横ばい傾向にあるが、集団発生に結びつく可能性もあり、今後とも一層感染症の予防及び知識の向上を図る。

(1) 二類・三類感染症発生状況 平成16年3月31日現在

種別 年度	二類感染症						三類 感染症
	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス	急性灰白髄炎	ジフテリア	腸大管腸出菌血感性感染症
平成11年度	-	3	-	-	-	-	3
平成12年度	-	-	-	-	-	-	3
平成13年度	1	1	-	-	-	-	4
平成14年度	-	-	-	-	-	-	9
平成15年度	-	1	-	-	-	-	5

(2) 二類・三類感染症対策検査実施状況 平成16年3月31日現在

	実検体数	二類				三類
		赤痢	コレラ	腸チフス	パラチフス	腸管出血性大腸菌感染症 (0157等)
医療機関及び検査機関等	9 (1)	-	-	-	-	9 (1)
海外渡航に係わる検査	1	-	-	-	-	1
家族及び接触者	14	1	-	-	-	13
菌陰性化検査	7 (2)	2 (2)	-	-	-	5
その他	-	-	-	-	-	-
計	31 (3)	3 (2)	-	-	-	28 (1)

注 ()内は陽性者数を再掲

2. エイズ予防事業

(1) エイズ対策促進事業

1) エイズ講演会：中小企業新従業員に対する正しい知識の普及 (商工会議所研修会と協働)

日 時	参加人数	内 容
平成 15 年 4 月 7 日 9:00~10:00	38人	講演「エイズに向き合う社会」 講師 桑名保健福祉部 保健師
平成 15 年 4 月 10 日 9:00~10:00	34人	講演「エイズに向き合う社会」 講師 桑名保健福祉部 保健師

2) 管内高校生等に対するエイズ教育

実 施 年 月 日 場 所	対象者	参加 人数	内 容
平成 15 年 8 月 7 日 桑名工業高校	小中高校保健主事 養護教諭 保健体育担当教員 医療機関関係者 市町村職員	54名	第1回思春期フォーラム 講演「A I D S の最近の現状」 講師 HIV と人権・情報センター 理事長 五島 真理為 ヤングシェアリングプログラム (YSP) パネルディスカッション パネリスト ・桑名高校衛生看護分校 教諭 ・桑名工業高校 保健主事 ・桑名市民病院 副院長 ・桑名保健所 保健師
平成 15 年 10 月 2 日 桑名工業高校	桑名工業高校学生	300名	文化祭における啓発
平成 15 年 10 月 3 日 桑名西高校	桑名西高校学生	150名	文化祭における啓発
平成 15 年 12 月 7 日 スーパー「アピタ」	一般住民	2000 名	桑名工業高校エイズボランティア (15名)による街頭キャンペーン 啓発物の展示と啓発グッズの配布
平成 15 年 12 月 10 日 津田学園 津田学園体育専門学院	津田学園 体育専門学院生	82名	講演・YSP 講師 桑名保健所 保健師

平成 16 年 1 月 10 日 東員町役場講堂	小中高校教職員 医療機関関係者 市町村職員	159 名	第 2 回思春期フォーラム * 講演「輝く命～AIDS を通して生と性を考える」 講師 HIV と人権・情報センター 理事長 五島 真理為 * 若者からのメッセージ「今、わたし達から伝えたい生と性について」 (桑名工業高校生、桑名高校衛生看護分校生、津田学園体育専門学生)
平成 16 年 3 月 16 日 桑名高校 衛生看護分校	桑名高校 衛生看護分校学生	30 名	講演「若者の HIV 感染を減少させるには」 講師 NGO「HIV と人権・情報センター」理事長 五島真理為

(2) 世界エイズデーキャンペーン

実施日時	実施場所	実施者	実施内容
平成 15 年 12 月 1 日 7 : 3 0 ~ 8 : 3 0	近畿日本鉄道桑名駅 出口 (西口、東口)	保健所職員 4 名 桑名市民病院職員 3 名	エイズ啓発物の配布 (リーフレット、ティッシュ、フェイスパーパー)

(3) エイズ採血検査、電話相談者数

	性別	件数	計
エイズ相談	男	7 4	1 2 0
	女	4 6	
エイズ検査	男	3 4	5 6
	女	2 2	

3 . 予防接種

(1) 市町別予防接種実施状況

区分 市町名	定 期						
	二種混合	三種混合	ポリオ	風疹	麻疹	日本脳炎	インフルエンザ
桑名市	780	4,439	2,180	2,773	1,117	4,308	8,820
いなべ市	476	1,603	850	463	420	2,208	4,307
多度町	113	303	136	118	59	514	1,007
長島町	111	537	246	154	141	666	1,242
木曾岬町	69	188	83	56	54	295	467
東員町	269	871	353	202	240	1,098	1,547
計	1,818	7,941	3,848	3,766	2,031	9,089	17,401

第4節 健康づくり（ヘルシーピープルみえ・21）

1 たばこ対策

目的

未成年者の喫煙率を下げる、公共の場の分煙をすすめる、喫煙マナーを守る人を増やす、禁煙支援の場を増やす等目標のもとに、医療・教育・企業・住民・行政・学識経験者等多くの分野からの参加を得て「地域ぐるみのたばこ対策」に取り組んできました。

内容

(1) 喫煙対策協議会の開催（2回）

最終目標の達成に向けて、事業進捗状況を把握管理するための「経過評価の指標」を各々の組織で考え、把握し、随時事業を見直し、修正を行った。

月日・場所	参加者	内容
平成15年 7月31日 桑名保健福祉部	喫煙対策協議会委員28名	これまでの取り組みの報告 グループワーク「目標達成にむけてのそれぞれの取り組みの報告と評価」
平成16年 2月26日 桑名保健福祉部	喫煙対策協議会委員20名	それぞれの取り組みの報告 今後の取り組みについての意見交換

(2) 世界禁煙デーキャンペーンの実施

関係者とともに標語「無煙世代を育てよう」を印刷した花の種と「桑名保健福祉部におけるたばこ対策」のちらしを配布。

月日・場所	従事者数	内容
平成15年 5月30日 桑名駅周辺	管内健康づくり関係者：28名 3,000枚配布	無煙世代を育てよう」を印刷した花の種と「桑名保健福祉部におけるたばこ対策」のちらしを配布し普及啓発。
平成15年 5月31日 アピタ桑名店・マイカル桑名	管内健康づくり関係者：24名 2,000枚配布	無煙世代を育てよう」を印刷した花の種と「桑名保健福祉部におけるたばこ対策」のちらしを配布し普及啓発。

(3) 「たばこと健康を考える」フォーラムの開催

健康づくりの一環として、地域住民への理解を深め取り組みを拡大する。

月日・場所	参加者	内容
平成15年 8月24日 桑名保健福祉部	参加者：128名 健康づくり関係者 および一般住民	講演「地域ぐるみのたばこ対策 - 桑名保健福祉部の取り組み - 」 講演「禁煙外来の子どもたち」 講師：奈良女子大学 高橋裕子教授 シンポジウム「地域ぐるみのたばこ対策」 シンポジスト：医師会長、小学校養護教諭、市町保健課長

(4) 未成年者の喫煙防止対策
ライフスキル教育研修会の開催

月日・場所	参加者	内容
平成15年 8月20日 桑名保健福祉部	参加者：32名 管内小・中・高校教職員	講演「こころを育む喫煙防止教育」 講師：神戸大学 川畑徹朗教授

「小・中・高校における喫煙防止教育」実態調査

月日・場所	対象	内容
平成15年 12月21日 ～平成16年1 月21日 桑名保健福祉部	72校(回収：47校) 管内小・中・高校(全数)	喫煙防止教育の対象者に実施状況、対策等をアンケート調査

小・中・高校の喫煙防止教育への支援

月日・場所	受講者	内容
平成16年 1月16日 桑名高等学校	桑名定時制高校生 37名	講義「喫煙と健康について考えよう」 講師：清水恵子
平成16年 2月24日 深谷小学校	深谷小学校6年生 52名	講義「たばこと健康」 講師：清水恵子

教育委員会と共催による「たばこと健康を考える」標語・ポスター・イラストコンクールの開催。
応募数：175名

(5) 禁煙支援
地域へのPRチラシ配布、ホームページへの掲載
薬剤師を対象とした禁煙相談研修会等の開催

月日・場所	参加者	内容
平成16年 3月11日 桑名市民会館	管内薬剤師 参加者：60名	講演「薬局における禁煙支援と薬剤師の役割」 講師 堀美智子先生

「禁煙個別健康教育」の研修会開催

開催回数：2回 場所：桑名庁舎、藤原庁舎

対象：管内市町保健関係職員 参加者：8月29日(5名)、9月3日(2名)

④ 市町健康展にて「禁煙相談」の実施

月日・場所	参加者	内容
10月12日 桑名総合福祉会館	100名	禁煙相談および禁煙教育
11月2日 多度町 すこやかセンター	70名	禁煙相談および禁煙教育
11月3日 藤原町 文化センター	50名	禁煙相談および禁煙教育

(6) 分煙

- ① 禁煙・分煙プレートによる啓発活動および「受動喫煙防止」の健康教育
- ② 公共施設の禁煙・分煙の推進（飲食店の分煙対策）
三重県食品協会桑名支部と協働で飲食店の禁煙・分煙を推進し、「受動喫煙ゼロのお店」認証制度の創設と基準にあてはまる店舗を認証し、住民へホームページ等で公表。

(7) 喫煙対策事業の広報

- ① 管内市町健康展にて広報活動
- ② 「桑名保健福祉部たばこ対策」ちらし作成
- ③ 「薬局における禁煙相談」シールの作成
- ④ 「受動喫煙ゼロのお店」認証表示シールの作成等。

2 こころの健康づくり対策

当保健福祉部では、こころの健康づくり事業をはじめめるにあたり、事業対象を次の2つに分け、それぞれに事業展開することにした。

平成15年度事業計画

(1) モデル市町対象

管内でモデル市町を選定し、選定市町と協働で、『こころの元気なまちづくり地域支援システム構築』に取り組む。そして、管内への波及効果をねらう。

【対象】・・・選定市町 ⇒ 東員町

(2) 管内のメンタルヘルス対応関係機関対象

管内関係者の資質向上を図ることにより、こころの健康づくりの普及啓発を図る。

(1) モデル町（東員町）における取り組み

① 研修会の開催

月日・場所	参加者	内容
9月5日(金) 保健福祉センター	75名 町長、町議員 民生委員、自治会長、 町内医師 他に健康関係推進メンバー、町職員	講演会 テーマ 「みーんな集まれ！元気まちづくりをめざして」 講師 東京都立大学教授 星 旦二 氏 *講演会内容をビデオ撮影し、東員町のプラムチャンネルで随時放映し、住民への啓発を行った。

9月5日(金) 第二庁舎2階 会議室	34名 町長、町議員 民生委員 自治会長 町内医師 健康推進関係団体代 表者、町職員	座談会 テーマ「どうするかわがまちの健康づくり」 コーディネーター 東京都立大学教授 星 且二 氏 町関係者が一同に集まり、まちの健康づくりについてグルー プワークを行い、意見をまとめた。
10月21日 第二庁舎2階 会議室	18名 町職員	町職員研修会 「元気なまちづくり・健康づくり計画準備の会」 コーディネーター 東京都立大学教授 星 且二 氏 座談会（9月5日実施）で検討された意見に基づき、今後の まちづくり、健康づくりについて職員間で話し合う。その後、 各職員による情報・意見交換を行った。
10月31日 保健福祉セン ター	42名 地域住民 健康づくり関係者	講座「こころの健康づくり」 テーマ 「養生の術は先ず心気を養うべし（養生訓）から」 ①講演会 講師 北里大学名誉教授 立川 昭二氏 ②グループワーク 『「現代版養生訓」をみんなで作りましょう』
11月25日 保健福祉セン ター	41名 地域住民 健康づくり関係者	講座「こころの健康づくり」 テーマ『自律訓練法を取り入れて元気になろう！』 講師 大仲さつき病院院長 山田 幸典氏 ①自律訓練法についての講義と体験 ②参加者意見交換会「ストレス解消法どうしてる？」

②ワーキンググループ（元気づくり応援団）を組織化

ワーキンググループ（元気づくり応援団）

「住民参画のもとに、こころの健康づくりを考えて行こう！」ということで、住民から公募した住民代表と、行政の町職員とのメンバーで構成し、元気なまちづくりに向け一緒に検討していく。

ワーキングメンバーの勉強会開催

日時 平成16年 3月24日
場所 第二庁舎会議室
対象 ワーキングメンバー候補（公募した住民、町職員）
講師 東京都立大学教授 星 且二 氏
参加者 28名


成果・課題

平成15年度より、こころの健康づくり地域支援システムの構築に向けて、東員町との協働により3年計画で取り組んだ。初年度である今年度は、町長はじめ町議会議員、町職員や民生委員等住民の出席のもと、「こころが元気なまちづくりをめざす」ための座談会や研修会を開催し、協働で取り組むための共通認識をもつことができた。また、地域住民に対しては、こころの健康づくりへの理解・関心を高めることができた。

平成16年度は、東員町と役割分担を明確にし事業展開していく必要があり、リスナー（傾聴者）養成を実施する。

(2) 管内メンタルヘルス関係者に対する取り組み

研修会の開催

月日・場所	参加者	内容
2月18日(水) 桑名庁舎 第1会議室	30名 管内栄養士	講演会 「現代人のストレス状況とストレス解消法」 講師 桑名保健福祉部 栗原 喜代子
3月2日(火) 第二庁舎2階 会議室	20名 事業所診療所 } 市町保健師 } 社会福祉協議会 }  各メンタルヘルス 関係者	カウンセリング研修 「体験しよう ~リスニング~」 講師 東海カウンセリング研究所 産業カウンセラー 6名 * 管内事業所をまわり、関係者の参加を呼びかけた。

成果・課題

年度はじめに管内関係者への事業周知を図ってきたが、研修の回数は少なかった。事業実施の中から、関係者が情報交換の場を求めていることがわかった。今後は、研修会の中に情報交換できる場の設定等の工夫をしながら事業をすすめていきたい。

3 健康食環境創造事業

総合的な健康づくり対策をより組織的・効果的に推進するため、管内市町や関係団体と協働を図りながら、自主的な健康づくりが生活習慣として実践され定着するように、ヘルシーピープルみえ21の一環として生活習慣病予防を基本とした食の環境づくりを推進した。

(1) 食育推進事業

幼児期から、生涯を通じて健康的な食生活を営める能力を身につけるために、生物を育み、命の大切さを知り、それを適切に食べることを学ぶ「食育」を推進した。

研修会

場 所：桑名庁舎 第一会議室

内 容：講演「保育・子育てにおける食の重要性 - 食をとおして子どもを育てる -

講師 名古屋短期大学 小川 雄二 教授

出席者

所属施設の種類	出席者数(人)	
	管理栄養士・栄養士	その他
学校	6	5
児童福祉	-	27
行政	5	-
その他	3	1
計	14	33

プロジェクト会議

委 員：私立保育園長代表、公立保育園長代表、NPO代表、市町村行政栄養士代表、

県農政部職員 計 9名

第一回 場所：桑名庁舎附属棟 第二会議室

第二回 場所：桑名庁舎 2階 審査室

(2) 歯科保健

・ 歯科保健教室

障害児をもつ母親を対象にう歯予防、口腔保健に関し、県歯科医師会桑員支部の協力を得て、集団指導を行った。

開催日	平成15年9月11日(木)
開催場所	桑名市療育センター
対象者	入園児とその母親
参加人員	27組54名
内 容	講演「乳幼児の虫歯予防」 歯科健診 ブラッシング指導

第5節 保健栄養

少子・高齢化が本格化する中で、県民の健康づくりへの意識が高まる一方、生活環境の著しい変化により多様化した個人のライフスタイルに合わせ、1人ひとりへの適切な対応が必要となっている。

当部では、栄養改善の各分野の連携及び市町村栄養士・食生活改善推進協議会会員等の教育・研修、集団給食施設指導等を通して、適切な食生活と健康管理の推進並びに健康増進活動を行う地域指導者の育成に努めた。

1. 県民栄養指導実施状況

(1) 栄養改善指導実施状況

	個別指導延人員		集団指導延人員	
	栄養指導	(再掲) 病態別栄養指導	栄養指導	(再掲) 病態別栄養指導
乳幼児	1	-	-	-
20才未満	-	-	18	-
20才以上	6	1	125	13
計	7	1	143	13

(2) 食生活改善地区組織活動の育成

地域における食生活改善のボランティアとして活躍している食生活改善推進員の地区組織活動の円滑な運営が行われることを目的に経験年数に応じた研修会を開催。

食生活改善地区組織支援研修

内容	回数	延受講者数
会員歴1～2年目研修	1	23
会員歴3～5年目研修	1	11
地区役員研修	1	1
計	3	35

食生活改善推進員数

(平成16年3月31日現在)

市町名	計	桑名	いなべ	多度	長島	木曽岬	東員
会員数	936	90	507	103	75	40	121

(3) 管内市町行政栄養士研修

健康増進法第18条に基づき、市町栄養士の資質の向上と連携を図ることを目的に研修会及び技術支援を実施し、市町村栄養改善事業の円滑な推進を図った。

管内市町栄養士設置状況

嘱託含む (平成16年3月31日現在)

市町名	計	桑名	いなべ市	多度	長島	木曽岬	東員
栄養士数	8	2	3	1	1	1	0

管内市町行政栄養士研修会開催状況

・実施回数 6回/年

(4) 地域栄養管理ネットワーク研究会

地域の栄養改善、健康づくりに関する総合的な資質の向上と情報交換を図ることを目的に開催。

実施年月日	対象者	参加人数	内 容
平成 15 年 8 月 28 日	管内の栄養管理業務に携わる管理栄養士及び栄養士	25名	講演・調理実習 事業所給食における正しい食習慣のアプローチ
平成 16 年 2 月 18 日		26名	講演 現代人のストレスと栄養の関係

地域栄養課題の検討

平成 11 年度に策定した地域栄養改善活動指針をもとに、地域課題の把握、検討及び評価を行った。

- ・検討委員：6名（研究会参加者）
- ・検討会：2回

(5) 集団給食施設指導

健康増進法第 22 条に基づき、特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設の栄養改善指導を実施した。

巡回指導

	集団給食施設	その他の給食施設	計
施設数	86	43	129
指導数	31	16	47

集団指導

集団給食従事者研修会（北勢県民局で合同開催）

月 日：平成 15 年 10 月 17 日

場 所：四日市庁舎大会議室

参加者：集団給食に従事する管理栄養士・栄養士・調理師・調理員等（管内から 10 名）

第 6 節 原子爆弾被爆者援護

1. 被爆者医療

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、原子爆弾が投下された際、広島市、長崎市とこれに隣接する区域内にあった者、その他身体に放射能の影響を受けるような事情下にあった者、当時その者の胎児であった者について年 2 回の定期健康診断を実施し、被爆者の健康管理を行っている。

(1) 原爆被爆者健康診断実施状況

平成 15 年度分

区分 市町別	延べ受診 者数	受 診 者 数									
		第 1 回					第 2 回				
		異 常 な し	要 注 意	要 精 検	治 療 中	計	異 常 な し	要 注 意	要 精 検	治 療 中	計
計	81	19	0	5	22	46	14	0	0	21	35
桑名市	41	9	0	2	12	23	8	0	0	10	18
いなべ市	21	6	0	0	5	11	4	0	0	6	10
多度町											
長島町	4	2	0	0	1	3	0	0	0	1	1
木曾岬町	3	1	0	0	0	1	1	0	0	1	2
東員町	12	1	0	3	4	8	1	0	0	3	4

(2) 各種手当支給状況

平成 15 年度分

医療特別手当	特別手当	小頭症手当	健康管理手当	保健手当	家族介護手当
1	1	0	51	6	0

(3) 被爆者がん検診

平成 15 年度分

受診種目	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性骨髄腫	大腸がん
受診者数	2	2	1	0	2	2